

IPアドレスをめぐる最近の情勢と JPNICの対応について

JPNIC

APNIC Task Force, Chair

荒野高志

APNIC Task Force (AP-TF)

- APNICからのアドレス割り当てをスムーズに行なうことを主目的としてIP/AS-WG、Intl-WGを中心に98年8月に結成
- 12月にAPNICに提案書をだすことを目標
- KRNICなど横の連携も深めつつ、APNICと交渉していく

APNIC最近の状況

- オーストラリアに移転(98年1月)
- 人が一新(98年1月～)
- 割りあてポリシーがきびしくなりつつある
- 現在過渡期であり、以下のような問題点が露呈している
 - **confederation**ルールの決め方が不透明
 - その運用が不透明
 - 結果としてAPNICからの割り振りに遅延発生

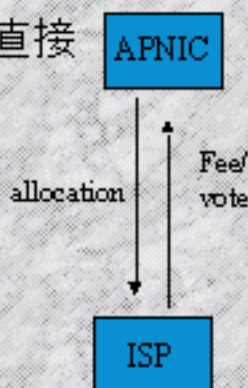
今日の内容

- APNICとは / confederationとは(前村)
- 割り振り遅延の実例について(水越)
- JPNICにおける方向性(水越)
- JPNIC以外の選択肢(荒野)
- 討議

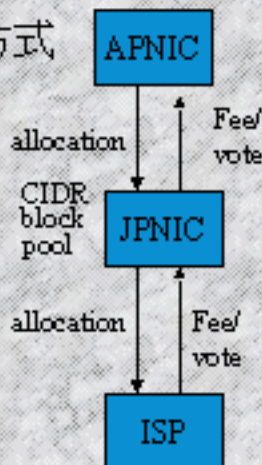
JPNIC以外の選択肢

- ISPはJPNIC以外に直接APNIC会員になり、アドレス割り振りを行なうという選択肢も持っている。

1) APNIC直接方式



2) JPNIC方式



APNIC直接方式で想定されるメリット・デメリット

- 言語・文化問題
 - やりとりが英語になる
 - 会費は米ドルだて
- 透明性
- APNICの議決権をもらえる
- 割り振りルールのきびしさや量などは同じ
- 最低\$2,500の年会費と手数料が必要
- 配下のISP顧客に割り振りができる

APNIC来る！

■ IP-USERS

- 12月16日13:00-15:00

■ 業務委任会員/APNIC対話会

- 12月16日15:00-17:00

■ 京都(インターネットウィーク98内)